

第37号

2010.6.28

発行：自治労

木古内町職労教宣部



職場新聞ニュース

7月4日、商工祭りが開催される。午後4時から役場駐車場で、歌謡ショーや抽選会、ジャンケン大会なども実施。翌週は選挙事務の方も多いため。生ビールがうまい季節、でかけてみては？

初夏の陽気のなか

参院選北海道選挙区

藤川まさし候補が木古内町で演説

参院選公示日の翌25日、全道を遊説している藤川まさし候補が当町を訪れました。



同行した逢坂誠二衆議は「民主党政権への批判はあるが、時計の針を戻すわけにはいかない。交付税も1兆円以上増やした。地域医療も守る取り組みをしてきた。じぶんと一緒に

に地方を守る政治を、藤川まさしさんに担わせていただきたい」と述べました。

藤川まさしさんはすこし日焼けした顔で「民主党は1次、2次、3次産業をうまくつなげて6次産業を創ろうとしている。地方が元気になり食糧供給をしていただかなければ都会は元気にならない。地方の行政、医療、福祉を守るため全力でがんばるのでご支援をお願いします」と、力強く決意表明。政権安定のためにはこの参院選で民主党が勝利することが重要となります。組合員ひとりひとりの応援、支持拡大活動をよろしく

お願いします。



参議院選挙の投票方法

選挙区選挙

「候補者名」
を書く

選挙区選挙

（うすい黄色の票）

あらかじめ投票する候補者名を確認しておきましょう

比例代表選挙

「候補者名」
を書く

比例代表選挙

※全国単位で行われます

（白票）

連合、自治労、木古内町職労は北海道選挙区で**藤川まさし**比例代表区で**えさきたかし**を推薦しています

「現場の切実な声を届ける」

参院選比例代表

えさきたかし候補がかなで～るで



6月8日、北斗市「かなで～るで」で、参院選選挙闘争総決起集会が開催されました。

当町からも病院看護師や執行部、青年女性部幹事など20人が参加。

この日、道南入りした**えさきたかし**さんは、「いま

の社会は公共サービスをないがしろにしている。このままでは地域主権政策も失敗するだろう」とし、「逢坂誠二衆議や、北海道選挙区候補予定者・藤川まさしさんと連携して、現場の切実な声を届けていく。そのためには皆さん方一人ひとりの支援が必要。圧倒的な勝利をさせていただきたい」と力強く訴えました。

その後、市立函館病院労組書記の松原さんから花束を贈られ、退場の際には「投票日までの応援をよろしくお願いします」と会場を埋めた300人の一人ひとりと握手を交わしていました。



第22回参議院議員選挙

公示6月24日 投開票7月11日
期日前投票6月25日～7月10日

参院選公示にあたって（組合員へのアピール）

本日、第22回参議院議員選挙が公示された。

昨年の歴史的な政権交代の意義をあらためて問い直し、自民党などが画策する歴史の反動を許すのか、それとも、民主党政権が新しい日本社会を創り上げるための基盤をさらに強固なものにできるのかが、問われる政治決戦である。

17日間の選挙戦本番のスタートにあたり、あらためて、**北海道選挙区「藤川まさし」、比例代表「えさきたかし」**の両組織内候補必勝に向けた全組合員の総決起を呼びかける。

政権交代後の第2次民主党政権である菅内閣は、「国民の生活が第一」に加えて「強い経済、強い財政、強い社会保障」を掲げて、国民の期待を再結集してスタートした。一時は2割を割り込むまでに落ち込んだ民主党の支持率も回復傾向を示している。しかし、この間の政治の混迷が深刻な政治不信を招いていたことを忘れてはならないし、不確実・不安定な「風」に頼らないたたかいを、組織としてつくり上げる必要がある。

さらに肝に銘じなければならないのは、民主党への順風は少し回復したかに見えても、それは決して「藤川」「えさき」と、その勝利をめざすわれわれ自治労や労働組合に吹いているわけではないことである。

北海道選挙区（定数2）は、民主2人・自民の有力3新人候補の競い合いとされているが、「藤川まさし」はまだ3番手で伸び悩んでおり、北海道新聞調査によれば「公務員・団体職員」でもわずか2割にしか浸透していない。いまだ最大基盤であるべき自治労をはじめ組織された労働者層自身の取り組みが不足している段階なのである。

比例代表（改選48議席）は前回2007年のかつてない大勝利でも民主党の獲得は20議席だった。今回は立候補45名のうち現職が19名、新人も著名なスポーツ選手やタレントがひしめいている中で、「えさきたかし」の個人名はまだ浸透不足である。

何度も呼びかけてきたように、今回の参院選の最大課題は、“歴史を逆戻りさせない”“市場万能の新自由主義の復活を許さない”ことである。参議院での与党の過半数割れとは、公共サービスとその労働者の労働条件を切り下げ、小さな政府を主張する政治勢力の台頭を許すことである。民主党政権の基盤を安定させるとともに、その中で自治労の政策実現を進めなければならない。

そのためには民主党の勝利だけでは十分ではない。自治労出身・労働者代表である**北海道選挙区「藤川まさし」、比例代表「えさきたかし」**の必勝が不可欠なのである。全組合員が厳しい情勢を認識し、家族、知友人への「藤川」「えさき」の徹底を進めよう。悔いのない17日間の取り組みに総決起しよう！

2010年6月24日



自治労北海道本部執行委員長 山上 潔
自治労木古内町職員労働組合執行委員長 吉田 広之